

同志社大学

2009年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2010年3月20日提出

所 属	職 名	氏 名
文学部	教授	神 谷 勝 広
研究題目	江戸時代における文人の研究	
研究成果の概要	<p>江戸時代においては文人（文学・絵画・学芸などの多分野にわたって活躍した者たち）が、文化をリードしている。</p> <p>加藤千蔭に関しては、今年度も、岐阜県各務原市にある、内藤記念くすり博物館所蔵草稿類の整理を継続している。</p> <p>今年度、水戸藩士立原翠軒にも注目すべきであることに考えがいたった。同志社大学には、実は、翠軒関連の資料が全国でも稀なほど所蔵されている。これらの資料を分析することで、江戸時代中期の文人の情報網がいかなるものであったかについて、従来にない研究成果が期待できる。今年度から開始した調査を継続し、できれば二年後を目処に論文したい。</p>	